

## ◆ 施設・事業所の概要 ◆

事業種別：社会福祉協議会

職員数：400人

## 事例 14

### ご相談の内容

研修体系や研修計画がなく、一部の部門を除いて、新任職員以外は十分に研修に取り組めていません。研修体系等を策定し、体系的に取り組みたいと考えているので、支援をお願いします。



### 支援の内容

他の社協の研修体系等を情報提供しながら、職場研修の手引き（※1）をもとに、研修体系等の策定の手順やポイントを説明しました。

職場研修を進めるにあたっては、組織の理念や目標を実現するために、求められる「職員像」や「能力」を階層ごとに整理することが大切です。これをもとに必要な研修を組み立てていくことで、体系的に職場研修を進めることが可能となります。

求められる職員像は、社協の理念や社協職員としての使命から、具体的な実践行動（※2）のレベルで表現するとともに、行動を支える「価値観・知識・技術」の3つの視点から総合的に検討することが大切であることをアドバイスしました。

※1 職場研修の手引き（基礎編・実践編）は、兵庫県社会福祉研修所のホームページからダウンロードできますので、ご参照ください。

※2 具体的な実践行動（例）

- ・新任職員： 地域の関係機関や専門機関、活動団体に関する情報を把握し、住民の視点に立って分かりやすく情報提供することができる。
- ・中堅職員： 住民からの相談に対して、地域の関係機関や専門機関等と連携し、住民の意思を尊重しながら具体的な提案や支援ができる。
- ・チームリーダー： 地域活動に関する困難事例の解決や改善方策を職員とともに考え、適切に指導ができる。

### 職場研修アドバイザーからの一言アドバイス

- 組織の理念や目標から、求められる職員像を階層ごとに整理し、これをもとに必要な研修を組み立てていくことで、体系的に職場研修を進めることが可能となります。
- 求められる職員像は、具体的な実践行動のレベルで表現するとともに、行動を支える「価値観・知識・技術」の3つの視点から総合的に検討することが大切です。